

慶南青年カレッジ2009

－日韓交流プロジェクト－

代表者 持永宣孝（経済B2年）
構成員 藤井浩子（人文B2年） 普家麻美（人文B2年） 澤山文香（経済B2年）
黒田香織（人文B2年） 棚田明日香（教育B2年）
常松咲良（工学B2年） 福田将輝（工学B2年）

私たち、慶南青年カレッジ2009は今年3月に結成し、以来今夏に行った日韓交流プロジェクトの成功を最大の目標として、活動してきました。結成直後から、週1回程度集まり、日韓の参加学生を募るためのプレゼンやプロジェクトの内容の企画と運営に努めました。プロジェクト直前には、ほぼ毎日のように企画の細部を詰めて、また昨年度参加のOBの先輩の助けを借りて、準備を行いました。

訪韓プレゼンテーション

4月、私たちはゴールデンウィークに控えた訪韓プレゼンテーションのための準備を行いました。この準備では、韓国人留学生の力を借りて、資料を作成して、またハングルを教えてもらいました。留学生と、韓国のCMのパロディーコントを考え、同プレゼンテーションはよりいっそう興味深いものになったと思います。また、準備を通して、留学生との交流もできました。4月28日、私たちは日本を出発し、韓国の大学生を前にした私たちのプレゼンテーションは全部で4回あり、訪問した大学は蔚山大学、昌原大学、仁済大学の3つです。5月2日には釜山韓日交流協会に集まったその他の大学の韓国人学生数名にプレゼンテーションを行いました。



釜山韓日交流協会にて

プレゼンテーションは韓国側の慶南青年カレッジ参加者のOBにサポートしてもらい、韓国の学生に慶南青年カレッジ2009のプロジェクトに興味を持ってもらえました。また、大学訪問の後には、食事会を開くなどして、さまざまな形で韓国学生との交流、同プロジェクトのPR活動を行いました。

慶南青年カレッジ2009 準備

5月・6月、私たちはプログラムの日程を企画しました。また、日本側新参加者を募集するために、慶南青年カレッジの顧問である山口大学の非常勤講師の中野智昭さんの講義の場を借りて、慶南青年カレッジ2009のプレゼンを行いました。また、茶話会では去年の活動の体験談をして、参加した学生からは慶南青年カレッジ2009に興味を持ってもらえました。また、山口県立大学でも、茶話会を開き、参加者を募り、日韓両国でのプレゼンテーションを通して、日本人22人、韓国人23人の計45人で慶南青年カレッジ2009を行うことになりました。7月には、交流プログラムの中で利用する施設や訪問する場所の視察、パンフレット作成を行いました。また、韓国側リーダーとの顔合わせのために、韓国側の参加者3人と昨年参加したOBを山口に迎えました。8月の同プログラム中にも訪問する長門市で、クジラ祭りに参加して、和船競争やクジラ漁の模擬体験を行いました。クジラ祭り参加によって、長門市の地元の方々と交流を深めることもできました。



クジラ祭り前日

慶南青年カレッジ 2009 実施

8月、私たちは直前まで詳細の計画にあたり、不備がないかを確認して慶南青年 2009 の開始を待ちました。8月18日慶南青年カレッジ2009はスタートして、韓国人大学生と交流しました。初日、韓国の大学生に日本の食文化を体験してもらうために、もちつきとそばうちの体験を行いました。



そばうち体験

参加者の半数が初対面の外国人ということもあり、互いに緊張している姿も見られましたが、この体験を通してうちとけることができました。2日目以降は宮島観光、広島での平和学習、日韓の環境問題についての講座、地引網体験、テンプルステイ、秋芳洞見学などを行いました。



秋芳洞見学

平和学習では、原爆資料館にて千羽鶴の奉納や被爆者の体験談の公聴会などを行いました。テンプルステイの日には、萩市庁表敬訪問を行い、萩市内を観光して、日本の歴史文化に触れました。プログラムの運営は滞りなく進めることができ、参加者全員に楽しんでもらうことができましたと思います。また、日韓の学生間での交流も深まり、互いの国に対して、さらに興味を持つきっかけとなったことと思います。

今後の活動

10月に予定していた韓国を訪問しての交流は、新型インフルエンザ蔓延の影響を受けて、2月に延期することになりました。そのため、2月までの活動は基本的には休止です。2月の交流では、韓国側の視点に立った平和学習や韓国の歴史や文化を体験し学ぶ機会にしたいと考えています。2月までに、この交流のための準備を韓国側リーダーと連絡をとりながらゆっくり進めていきたいです。